

ココロとカラダが喜ぶ美術館

『ヴィジュアル新書 企画展がなくても楽しめるすごい美術館』
藤田令伊著 KKベストセラーズ 2016

美術館では、近年いろいろなおもしろい素敵な企画展をやっていますね、そんな企画展、気になって行ってみたいもの、時間待ちの行列ができていたり、入場規制がかかっていたり...遊園地のアトラクションですか?!とツッコみたくなるようなそんな経験ありませんか? そんなあなたに...! 企画展もいいですが、美術館には常設展示と違っていつ行っても見れる(なかには、その作品がほかの美術館へ借り出されていて見れないものもたまにあります...) 作品、展示が美術館には必ずあるのを知っていましたか? また美術館自体が作品の一部だったり、美術館の周りの景観や庭を楽しむこともできます。この本はそんな美術館たちを紹介した1冊になっています。なかでも、「ココロとカラダが喜ぶ美術館」たちをわたしはおすすめします。美術鑑賞は美しい作品を愛でるだけじゃないんです! 訪れたら爽やかな気分を味わえる? ! 景観や作品を持った美術館がたくさんあります。いろいろなことにストレスを抱える人が多い今、こういう美術館はわたしたちに必要なものかもしれませんね! まさにリフレッシュ! 気分転換に試してみよう! なかでもオススメしたいのが、この本にも載っている、わたしも去年行って衝撃を受けた「香川県の豊島美術館」。瀬戸内海の豊島に建っているこの豊島美術館、普通、美術館って作品が飾られてその作品を見るというのが普通ですが、ここは違います。美術館の空間自体が作品になっており、その空間自体に身を置く体験すること、作品を味わうことができます。実際行ってわたしもびっくりしたのですが、本当にその美術館には空間があるだけで、何もないといってしまうと、何もないのです。言葉で表すには難しいのですが、その空間にいった人でなければ、味わうことができない感覚があります。私がいったときも、みなさんそれぞれ、座ったり、寝転んだり、ぼーっとたたずんだり、ペタペタ歩いてみたり、なかには、ひざを抱えてうつむいたりしている人も... みんなおもしろいおもしろいその空間を味わっているさまは、異様といえば異様でした。日常をわすれ、無になれるような、そんな感覚をわたしは感じました。まさしく、ココロとカラダが喜ぶ美術館です。(美術館の周りも絶景なんですよ わたしは島を自転車で回ったのですが気持ちよかったですよ~) ぜひ、ココロとカラダに元気がほしい人! 夏休みにでも、長期休暇に香川県豊島にある豊島美術館を訪れてみてください

おまけ ~ こんな美術館ものってるよ! 対話による美術鑑賞 ~
世界に6点しか現存しないゴッホのひまわりを持つ東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館では、「ギャラリー でトーク・アート」を行っているそうです。休館日に美術館を貸切にして、ボランティアスタッフとともに、絵画を鑑賞しながらもちろん解説もしてもらえますが、それぞれにその絵画について思ったことを語り合いながら館内を進むのだそうです。この対話による美術鑑賞、美術館では静かにという常識をくつがえした企画、近年ではあちこちの美術館でやっているのだそう...。松蔭の図書館でも年に数回読書会を行っていますが、これは美術館版読書会、絵画鑑賞会ですね。作品を自分ひとりで鑑賞するのではなく、多数の人と共有して鑑賞する、読書会もそうですが、自分とは違った見方や、捉え方の発見があり、刺激にもなり、とても楽しそうですね、ぜひ参加してみたいですね、対話による美術鑑賞。